



シルバーだより

No. 297

平成 27 年 3 月 1 日

荒川シルバー大学

荒川区荒川 3-49-1

岡田芳子

TEL 3801-5740

FAX 3801-5691

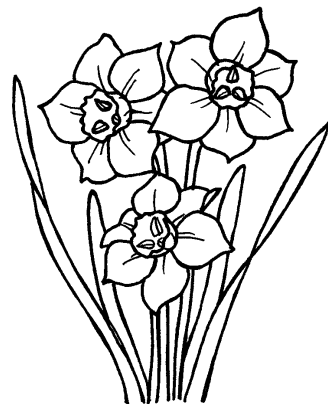
・・・春を待つ・・・

副学長・英語教室講師 木村 國子

三月を迎えました。水仙の花があちらこちらに群れて咲いています。とても良い香りです。一本一本が凛として美しく、まるでシルバー大学の学生のようにです。私は、早春に咲くこの花が大好き。春がもう そこまで来ています。

入学式でスタートを切った各クラスの授業も終盤を迎えています。学校の諸行事もほぼ終え、三月の卒業式を待つばかり。桜が咲くのも、間もないことでしょう。

先日、クラスの生徒が書いた一年間の感想に目を通しながら、今年を振り返ってみました。「色々あったけれど、充実した良い年だった。良き生徒に囲まれ、励まされ、励ましあいながら、一年のゴールを迎えられそう。シルバー大学に所属してこそ味わえる幸せ」とつくづく思いました。



新たなスタートとなる入学、各クラスの受付が、二月六日から始まりました。今年も沢山の人が、シルバー大学で学ぶことを楽しみに待っていることでしょう。年を取っても、学べる場があり、共に切磋琢磨出来る仲間がいると言うことは、なんと幸せなことでしょう。好きなクラスが選べ、基礎から学べる学校が身近にあるという意味を皆でもう一度考え、大切にしていきましょう。

知識、技術の習得だけではなく、人と関わり、良い関係を結びましょう。社会生活を円滑に送れるよう、心を磨き、一層心豊かに生きましょう。

人間、必ずしも良い時ばかりではありません。人生の途上でどんな不幸が待ち受けているかわかりません。そのような時も声をかけ、心を配り、分かち合える人がいるクラス、学校でありたいものです。

人生経験をたくさん積んでいる人たちがいる学校。それが、荒川シルバー大学の自慢です。誰もが、この学校で、少なくとも一年間学んで来て、三月に修了の時を迎えます。春の暖かい陽射しが全ての人に降り注ぎ、新たな年へと希望を持って進むよう心より願っています。

◆ 26年度学芸会が開催されました ◆

平成 27 年 1 月 30 日、(例年より一ヶ月程早く)春を呼ぶ行事として、恒例のシルバー大学・学芸会(平成 26 年度)が、多くの生徒さんや、一般のお友達にもお集まり戴き、滞ることなく無事に催すことが出来た事、心より感謝申し上げます。



司会:後藤八重子さんと瀧澤百合子さん

ただ驚かされたのはお天気でした。朝からの氷雨が開演の頃には本降りの雪になり、足元が悪くなる中どうなるのか、発表を控えて出演される生徒さんが無事に来られるだろうか?すべて怪我される事はないだろうか?など心配しましたが、それも無用でした。

学んだことを舞台の上で一生懸命発表された生徒さん、それを熱心に指導された教科の先生方のたまものでしょう、例年になく多くの観覧者の参加を見ました。

教科を発表された参加者並びに観覧者の在校生が 330 余名、そして一般のお客様が 40 名程、それに講師 24 名、終了間際に駆け込みで来られた人が何名か? 推定入場者 400 名程の多くの方に来場いただきました。それに今年は特別な二つの団体に参観いただきました。



福島市と観光農園の方

一つは「今と昔の町歩き」教室 10 周年の記念行事として、荒川区と友好都市である福島市を、復興支援事業の一環で 60 余名の生徒が観光旅行で訪問しました。そしてこの日、荒川区の交流行事で、私達が伺った先の福島市担当役員の方及び観光農園の方々が区を訪問されていたので、我々の学芸会を午前中(午後も一部)観て頂くことになり、「大変立派で感激した」とのお声を頂きました。

もう一つは、荒川区教育委員会催行の「中国北京師範大学教授等視察実施予定」の中にこの我々の学芸会が含まれており、終演近くでしたが観て貰い、これも視察の各先生方から「感激した」とのお言葉を頂きました。多くの方々に「立派な発表会だったね!」と云われました。それも、この学芸会に向けてご指導頂いた各教科の先生、



及各場所でそれぞれの役目を果たされた役員の皆様のお蔭です。厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

実行委員長 宮澤健一

小林教育委員長と北京師範大学教授等の皆さん



学芸会出演の教室の講師の先生及び生徒さんから学芸会の感想を頂きました。有難うございました。(広報部)

～投稿順の掲載とさせていただきます～

.....

日本の話芸教室

講師 塚田義介

来年は、教室開始10周年を迎えます。心癒される楽しい教室です。鑑賞するのが好きな人、話すのが好きな人、みんな大歓迎です。

さて、今年の学芸会は楽しんでいただけましたでしょうか。落語と講談はすでに何度も発表していますが、浪花節(浪曲)は初めてです。浪曲はセリフの他に、三味線と節があるので難しいのです。しかし、私たちは今年の10月、『課外授業・浪曲研究会』を開催して研修を積み、今回、発表に踏み切りました。

演題は、戦前一世を風靡した「壺坂霊験記」です。節もセリフも大変よく出来たと、自画自賛している次第です。次にテーマ曲「寿限無」ですが、今回はラップ調にして、ラインダンスも加えて楽しくやってみました。ジュゲム爺さんもカワイかったですよね？

また、声色は「歌笑・純情詩集」と「痴楽・恋の山手線」の2本立てでした。2人の個性的な声質と緩急の対比が、何ともいい雰囲気楽しかったですね。

最後の落語は、「粗忽長屋」と「居酒屋」の2つを聴いてもらいました。いつもの役者が揃い、個性豊かな声とセリフ回しは健在で、客席の皆様には満足していただけたことと思っています。

歌声クラブ教室

講師 本田晴子

雪が舞っている生憎の天気の中、会場は熱気で溢れていた。3回目となるクラブの出し物は「戦後70年を振り返る」の内容で、ナレーションを入れて心をこめて歌いあげた。リズムが合わず苦労した曲も何とかできた。

第2部の会場が一体となったの曲は、声の音量がいや増して、伴奏を消す勢いで圧倒された。やはり、歌の力は偉大である。特に懐かしい歌は、元気になれる。励まされる。さて、来年はどんなことをしょうか。考えをめぐらしている。

音楽教室

講師 飯島純子

今年は海をテーマとした4曲に「美女と野獣」「今が幸せ」を加えて発表しました。

曲によっては音程をとるのが難しかったり、高音域が出し辛かったりしましたが、皆さん頑張って練習し、どの曲もよく歌えたと思います。中国のお客様のため、もう1度2曲歌えて、アンコールの様で嬉しかったです。

練習の時にはICレコーダーなどで録音する方も増え、お家で練習なさるのだなと感心しています。この1



0数年間で何回も歌いついだ歌が増えて、レパートリーも広がりました。今に音楽教室だけで発表会が出来るかしら、等と夢をふくらませています。

私達は、これからも高低お互いのパートを聴き合って、ハーモニーを創る楽しさを追求していきたいと思っています。古くから歌い継がれてきた歌、また新しい感覚の歌をどのように組み合わせるか選曲は悩む所ですが、私にとって楽しい作業でもあります。今、来期の曲は何にしようかと、あれこれ考えている最中です。

健康体操教室

今年の学芸会は、白い花びらの様に雪が舞う足元の悪い中、シルバー大学の生徒さん達が朝早くから沢山来ていました。元気でバイタリティーが有り、思いやりのある方達だと心から思いました。さすが31年の歴史のある学芸会だと感動致しました。私も1生徒で改めて良かったと思えました。

皆さんそれぞれ沢山練習して、1つの事に向かって頑張ってきたので、自信を持って演技をしていました事が、すごく伝わって来ました。

私は健康体操に参加しました。曲に合わせてボールやシュシュ、手袋、鳴子を使って創作体操をしました。みんなで考え何度も何度も練習して、とても楽しい体操が出来上がりました。本番は明るく楽しく、笑顔で元気に和気あいあいと一致団結出来ました。“満足です”

教室代表 9班 増山美代子

輪踊り民舞教室

講師 新英美紗信

学芸会で毎年心配になっていたのが着がえる時間と場所の広さでした。今までは2つのグループに別れ、着がえをして、それでもあわただしく本番を迎える状態でした。今回は先生方の配慮で全員での着つけができ、お互いの帯を結び合い見ている嬉しく思いました。

たんすの中に眠っているだけの着物ではもったいないと思います。この機会に着るチャンスをみつけ、皆さんには着て頂いております。約1年間の成果発表が無事終わりました。舞台を終えた皆様の笑顔がステキでした。



朗読教室

講師 池田洋子

・・・「外は雪でも内は春以上の暖かさ。本当は上手に間違えてしまったけれど結果良ければ全て良しの思い。1番後ろに着していた夫の顔も見えた程の度胸も。楽しく明るくお世話様になりました」・・・学芸会終了後に朗読教室の学生から届いた葉書の1部です。最後に「朗読は奥が深いです」と結んでありました。

今年も学芸会初参加の学生達があります。音合わせも立稽古も初めてのこと。会場に目がいく程の余裕もなかったことでしょう。私が何より嬉しく思うことは、学生同士

が仲間を思いやる温かい眼差しや支え合う姿があることです。

これからも朗読の力量を高めていくことは勿論のこと、それ以前に人として、またシルバー大学の学生として仲間へのおもいやりや労りの気持ちをもって接して欲しい。そして、皆でひとつの舞台を創り上げる喜びや達成感を精一杯味わって欲しいことです。

フラダンス教室

初めて学芸会にフラダンスで参加、午後の部の1番目トップバッター(7人のグループ)で、出番直前は少し緊張しましたが、何とかつつがなく踊れとても嬉しく思いました。思えば去年の4月入学、日頃のレッスンも最初は運動不足解消と美容体操のつもりで気楽に思ってましたが、本格的なストレッチ体操もあり、同年輩や先輩達の軽やかな動きに愕然としました。まして、舞台上で演技するという事は、やはり日頃のレッスンの積み重ねを真剣に取りくんでいかなければならないという事を改めて痛感させられた瞬間でした。



会を重ねる度交友も深まり、有意義な空間も生まれるようになり、レッスンが益々楽しくなりました。それは何といても本場仕込みの佐々木時子講師、ある時は厳しく、ある時は優しく懇切丁寧、かつ明るく朗らかにユーモアを交えたご指導のお蔭と心より感謝しております。最後に会友の方々にいろいろ助けて頂きまして、誠にありがとうございました。

5班 丸橋浩子

英語教室

講師 木村 國子

学芸会は、一年間の学びを確かめる場であり、普段の授業の成果を見てもらい、クラスで何をしてきたのかを紹介する機会でもあります。クラスの皆さんが、舞台上上がった時の真剣な顔! 顔! 何度練習しても緊張するようです。

今年は、歌二曲、「ラブ ミー テンダー」と「花はどこへ行った」を歌いました。クラスの丸橋さんのピアノと、外からの応援で、強力な助っ人の大藤さんのギター伴奏で皆気持ち良く歌いました。本読みは、日本昔話「ねずみの相撲」の英語バージョン。交代で、一ページずつ、頑張って読みました。



最後は、六グループに分かれての、英会話。それぞれテーマを決めて、ストーリー作りから自分たちで話し合っ作った自慢の会話です。皆のパワーに私はただただ感心し、感動し、幸せなひと時を楽しませていただきました。

3月の行事

平成26年度 閉講・卒業式

日時：平成27年3月18日（水） 午後2時00分

会場：サンパール荒川 小ホール

一部

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 開式のことば | 7. 奨励賞授与 |
| 2. 敬礼 | 8. 奨励賞受賞者謝辞 |
| 3. 理事長挨拶 | 9. 感謝状授与 |
| 4. 卒業証書授与 | 10. 校歌斉唱 |
| 5. 学長式辞 | 11. 閉会のことば |
| 6. 卒業生答辞 | 12. 敬礼 |

二部 記念撮影 奨励賞受賞者・卒業生

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 2 月 ◆◆◆◆◆

3日 常任理事会・役員会

24日 シルバーだより 297号作成

6日 27年度募集受付（24日迄）

30科目 37教室

※ 事務局だより ※



1. 平成27年度の募集申込み受付について

区の生涯学習課、福祉高齢者課および広報課、生涯学習センター他、皆さんより多大なるご協力をいただき、27年度の募集受付が無事終了致しました。心より感謝申しあげます。また役員の方々には毎日お手伝い頂きありがとうございました。

2. 受講生二次募集について 各教室若干名の追加募集を致します。

期日：3月3日（火）～5日（木）（詳細は事務所前に掲示）

時間：午後1時～3時 会場：シルバー事務所

3. 講師会について 日時：3月27日（金）午後1時より：会場：第一会議室

事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691

ホームページ <http://www.arakawa-silver.com/>

室長：田原